（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･雇用条件(福利厚生、助成、昇進･昇級)について、差別しない体制を構築･運用している。(研修の実施、相談窓口の設置)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･ハラスメントを禁止することを就業規程に定め、従業員、協力会社を含めた研修会の実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･労働基準法等の改正に対する研修会を経営者を含め実施し、長時間労働の抑制のため社員の労働時間の把握を行い、勤務態勢の整備･対応を行っている。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	･外国人技能実習生･外国人建設就労者等の外国人労働者への労働環境の整備をしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･ISO45001:2018の認証を受け運用している。 (2003年OHSAS18001取得　2018年移行認証　5回目の再認証)			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･メンタルヘルス対策の方針･実施計画を策定し、講習会を開催し、運用している。 例)2018年よりｽﾄﾚｽﾁｪｯｸ実施。受動喫煙対策実施。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･多様な人材(特に高齢者)を積極的に募集･採用し、それぞれの能力･適正に応じた配置を推進する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･職務や職責に応じた専門教育及び資格取得を企業主動で実施している。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･【予定】建設業のため派遣労働の適用は少ないが、該当部署は同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備･対応を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･従業員･協力会社社員の健康保持及び増進を企業として健康投資に取り組んでいる。 例)人間ドック受診･予防接種･健康増進活動の助成。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･ISO14001:2015の認証を受け運用している。 ･廃棄物を事務所、作業所毎、各部門で排出量を把握･記録し管理している。 ･毎年、特定の産業廃棄物の削減目標値を設定。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･毎年、各部門毎二酸化炭素排出量を把握し、全社の集計をしている。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･各部門毎、部門にあった排出削減の行動を決め実行している。 ･建設現場では原則、排出ガス対策型機械の使用をしている。 ･建築部門はZEH住宅の説明･提案･推奨をしている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･各種法令で規定されている有害化学物質の把握･管理方法(SDSカード入手し、作業開始前にリスクアセスメント実施)を策定している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･環境に配慮した材料･製品･工法(土木･建築)を積極的に採用し、生物多様性環境保全に配慮している。 ･ISO14001で部門別の環境目標に油の流出を抽出し環境保全に対応している。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･土木･建築作業所での材料ロス率の削減、再生材料の使用、産業廃棄物の分別管理をしている。												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	･水資源(上水道、地下水、河川水)の効率的な利用を推進し、必要時現場内に循環装置を用意し、使用量削減対応をしている。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	･ISO14001:2015の認証を受け運用している。 （2008年取得　2019年　6回目の再認証）			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	･【予定】HPで環境活動を開示予定 。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	･水力発電事業に参画している。 ･店社工場屋根に太陽光パネルを設置、利用している。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	･再生砕石･再生アスファルト合材、再生プラスチック杭等の使用など行っている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･汚職･ 増収賄その他いかなる便宜供与もしてはならない旨を規定している。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を予定している。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･【予定】特許･商標等知的財産権の取得･管理を予定している。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･「個人情報取り扱い規程」を作成している。																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･【予定】建設業のため、主材料は国産だが、輸入材料など紛争鉱物の不使用確認を徹底する予定。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	･協力会社と対話を促進し、人権侵害等の取り組み状況の確認活動を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･ISO9001:2015の認証を受け運用している。 （1998年取得　2019年　7回目の再認証）			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･ISO9001:2015の認証を受け運用している。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	･建築部門はZEH住宅の説明･ 提案･推奨をしている。						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	･建設業の熟練労働者不足に対し、ICTを活用した労働生産性の向上を目指した施工をしている。 （平成29年、北陸地方整備局よりICT活用成績優秀企業受賞）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・技術系高校生による工事現場見学会などを実施。(平成30年長野国道事務所より建設産業担い手の確保・育成貢献工事表彰) ・YDC交通事故防止コンクール・安全運転管理者選任事業所交通事故防止コンクールに積極的に参加している。　　消防団協力事業所表示制度(長野市)に参加している。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・毎年、創立記念日に合わせ、周辺主要道路のごみ拾いボランティア実施(1998年より毎年)				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・木材は県産利用をする取り組みをしている。 エコサークル長野(長野市)に参加している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	「労働安全衛生方針」「環境方針」「品質方針」を明文化し従業員と共有を図っている。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ISO9001・ISO14001・ISO45001の運用により法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・ISO9001・ISO14001・ISO45001の運用により体制・仕組みを構築している。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ISO9001・ISO14001・ISO45001の運用にステークホルダーに及ぼす影響を把握し確実対応する体制・仕組みを構築している。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・・ISO9001・ISO14001・ISO45001の運用により各「リスク」を特定、評価、運用する体制・仕組みを構築している。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・・ISO9001・ISO14001・ISO45001の運用により各「リスク及び機会」を特定、評価、運用する体制・仕組みを構築している。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・『建設会社における災害時の基礎的事業継続力』国土交通省関東地方整備局より認定。2013年認定現在4期目継続活動中。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・【予定】後継したばかりで、計画等なし。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）